

社会（地域）貢献への取り組み

（1）「一般社団法人 あいづ地域振興研究所」の活動

2017年7月、会津地域を中心に福島県の地域振興を図るため、会津地域の企業及び富士通株式会社様との協業により、福島県河沼郡柳津町に一般社団法人を設立しました。

国内における少子高齢化が進む中、それに加えて、福島県は震災と原発事故の影響という大きな課題を抱えており、未だに風評被害による地域経済への多大なる影響を及ぼしています。当該法人では、これらの地域課題を解決する手段として、ICT（情報通信技術）を積極的に活用することで、地域振興と経済好循環の確立に寄与していきたいと考えています。

【事業活動】

- ①地域振興に関する施策の調査研究事業
- ②地域の経済活動を活性化させる施策の実施に関する事業
- ③地域の名産物及び特産物の開発と販売の支援に関する事業
- ④地域振興に資する事業体への投資
- ⑤その他当法人の目的を達成するために必要な一切の事業

【2018年度 主要活動概要】

福島日本酒文化形成事業「酒米高品質化実証」を開始。東北・福島での生産が難しいといわれる酒米最高品種『山田錦』の作付をターゲットに、IoT/ICTを活用して生産に関する様々なデータを収集し、生産状況や圃場環境の把握につなげて更なる福島県産酒米の品質向上に繋がります。



尾瀬を源流とし、会津地方を流れる只見川



全国新種鑑評会 金賞受賞数
6年連続日本一（福島県）！

（2）「1 Dayインターンシップ」及び「中学生職場体験受入」

当社では、夏季、冬季の休みを利用した「1 dayインターンシップ」研修を実施しております。2017年度は80名と多くの学生の方々に参加いただきました。研修内容はその名の通り1日で「システムエンジニアにとって一番大事なことは何か？」が体験できるグループワークが中心です。参加いただいた学生さんからは「システムエンジニアの仕事のイメージが具体的になった」、「時間に対する考え方が印象に残った」など、嬉しい感想をいただきました。



グループワークの様子

また、地元郡山市内の中学校からの依頼による職場体験も実施しています。ここ数年3校から各校5名程度の生徒さんが参加し、コンピューターのセキュリティに関することや、LEGOロボットを操作するプログラミング体験から、働くことや、会社について様々なことを学んでいただいています。

お兄さん（過去に当社の職場体験に参加した）から進められて参加された生徒さんもありました。（嬉しい！）

将来、エフコムと一緒に働けることを楽しみにしています。



LEGOプログラミング体験の様子

(3) 「おもてなし認証」の活動

2017年1月から登録開始となった「おもてなし規格認証」の更新を2018年1月に実施いたしました。この制度は、国内のサービス産業事業者のサービス品質を「見える化」するために経済産業省が創設した制度です。

外国を旅行したとき、現地の人や店員さんに笑顔で親切にされると、その国のことが一瞬で好きになります。逆にブスッと不愛想にされると、その国のことがちょっと嫌いになる。出会ったその人で、その国の印象が決まってしまうことがあります。エフコムを訪れるお客様に接するときの私たち社員は、その意味で、

「全員、エフコム代表なのだ！」

と思います。

エフコムの企業理念に「お客様にとって高品質な商品やサービスを提供する」とあるように「エフコム品質のコミュニケーションも提供できるはず！」という気持ちで『おもてなし規格認証2018』を推進しています。



『おもてなし規格認証2018』登録証

(4) アピオフェスティバルで模擬店参加

弊社社会津オフィスがある、会津若松卸商団地協同組合（会津アピオ）にて、2018年9月に第12回アピオフェスティバルが開催されました。

毎年弊社から模擬店を出店しており、今年は「カレンダーを作ろう！」を行いました。

赤べこちゃん・白べこちゃんと一緒に写真を撮り、エフコム特製カレンダーにしてプレゼントしました。

Wべこちゃんは、モコモコで子どもたちに大人気でした。今後も地域社会貢献のため、活動を続けていきます！



赤べこちゃん

白べこちゃん



(5) 「ふくしまIoTビジネス共創ラボ 第3回勉強会」開催

2018年6月12日コラッセふくしま4階多目的ホールにて、「ふくしまIoTビジネス共創ラボ勉強会」が開催されました。第一回第二回は郡山市で実施されましたが、第三回となる今回は福島市で開催。今後、浜通りや会津地方での開催が計画されています。

「ふくしまIoTビジネス共創ラボ」は、IoTの普及を目指す「IoTビジネス共創ラボ」（事務局：日本マイクロソフト株式会社 幹事企業：東京エレクトロン デバイス株式会社）の地域グループです。IoT/ビッグデータ領域の技術普及と活用、新たなビジネス機会の創出で福島県全域を盛り上げていこうという活動です。当社は、会員企業として今回の勉強会開催の幹事を担当しました。



勉強会の講演内容は「農業IoT」「AI鳥獣対策」「ドローン」「IoTセキュリティ」「福島のIoT」の5つで、それぞれとてもためになる講演でした。

会場もほぼ満席で、IoT領域に対する興味の高まりを感じました。

勉強会と同時に県内及び首都圏IT企業によるブース展示も併設されました。当社は株式会社富士通エフサスの協力のもと、「なわとびセンシングサービス」を出展しました。

まだ具体的な成果が出ていませんが、IoT技術で福島全体を活性化できるよう頑張っていきます。



(6) 中テレ祭り「中テレカラダステーション」ブース出展

2018年3月23日（金）～3月25日（日）の3日間、福島中央テレビ様主催、ふくしまの魅力再発見するイベント「中テレ祭り2018」が開催されました。当社は本イベントに富士通株式会社、株式会社富士通エフサスとの3社共同で「なわとびセンシングサービス」をブースに出展しました。



「なわとびセンシングサービス」は、腰にセンサー付のベルトを装着し1分間のなわとびを跳んでもらうことで[跳躍][リズム][バランス]からなる全6項目のデータを可視化するシステムです。

今までできなかった数値化により、子供達の能力を測ることができます。

本来各学校へ訪問し測定と授業をセットで行うサービスを、今回イベント向けに行いました。お子さんとご家族に跳んで頂き、その場で結果を出力してお渡しする方法で対応しました。

また成績優秀者には、豪華景品をプレゼントしました。プレゼントを手にした子供達はとても喜びながら、景品を抱えご家族と手を繋いで帰っていくのがとても印象的でした。

ご家族も「子供の能力をこういった形で見ることがないのでとても興味があります。」と話されていました。一方で「うちの子は、以外にリズム感があるのね。吹奏楽部だからリズムはいいのかな？」というご家族も。結果により様々な見方ができ、今まで気づけなかったお子さんの成長に改めて関心しているご家族も多数いました。



今回の「中テレ祭り2018」祭りでは、3月24日（土）と3月25日（日）の2日間のブース出展で、来場者数30,146名中約320名の方に「なわとびセンシングサービス」を体験して頂き、想定以上の集客となりました。

今後もお客様のニーズにあった形へと進化させながら、子供達の成長に役立てることができる質の高いサービスを提供していきます。

